

※ 1枚ずつお取りください。

川上校区 公民館だより

第164号



マスコット:アオバちゃん

発行 佐賀市立川上公民館

TEL・FAX (62) 5775 E-mail: kkawakami@city.saga.lg.jp

令和8年(2026年)3月

佐賀市の人口 225,152人

川上校区の人口 5,742人

川上校区の世帯数 2,281世帯【令和8年1月末現在】



作品名:「どんぐりの家」

川上小4年 香田 悠菜さん(大久保)

公民館主催・共催講座等の報告



第6回 川上凧あげ祭りを開催しました



川上校区の各種団体で実行委員会を組織し、準備に5回の会議を重ねてきました。

広い河川敷(はなはなパーク周辺)で開催された伝統的な催し、凧あげ祭りは多くの人出で賑わいを見せました。冬の空にカラフルな凧や連凧が空高く舞う光景は圧巻で、家族連れや友人同士にも親しまれている風物詩です。みかん、大根、焼き芋、ぜんざいなどの無料振舞やキッチンカー、露天が立ち並び、イベントの盛り上がりにも一役買っていました。また、各団体が支え合いながら取り組むことで、人と人がつながるコミュニティ形成の場となりました。最後に校区の各種団体の皆様の多大なるご協力と、来場者の皆様の笑顔に深く感謝申し上げます。有難うございました。

【開催日:1月25日(日) 総参加者数:主催者発表 1,800人(従事者含む)】

【主催:川上校区凧あげ祭り実行委員会(構成数10団体) 共催:川上校区公民館】



川上キッズダンス (Felice)



大和中生徒さんがボランティアを買って出てくれました



500台のPも満車状態が続きました



オープニング(大和中生徒のキッズダンス C2)



オープニング(川上小児童のキッズダンス Felice)



こんなに多くの人出に感謝感謝です



何処のブースにも長い行列が出来ました



サガテレビ・かちかちLIVEでお馴染みの「小田井涼平」さんが急遽現れました



※詳細については、川上校区公民館 (Tel62-5775) に問い合わせ下さい。



カラフルな凧や連凧が空高く舞う光景は圧巻でした



福岡凧の会・日本の凧の会（坂下忠弘さん）の創作凧も揚がりました



石焼き芋ブースでも長い行列ができました

ぜんざいのブースで準備に大忙しのスタッフ



ぜんざいブースでも長い行列が

シシ汁のブースでも長い行列が

パパのリードで競技を楽しむ家族



子どもが競技に参加するのをやさしく見守る家族



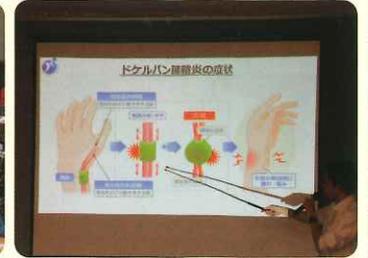
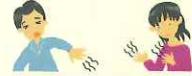
家族で思い思い場所を探して楽しみました

凧（川上のマスコット：アオバちゃん）をゲット

整形外科領域「手の痛み・しびれ」について講座(2)を開催しました

佐賀中部病院整形外科診療部長中島武馬氏を講師にお迎えし、整形外科領域講座(2)「手の痛み・しびれについて」を開催しました。手の痛みやしびれの原因となる「手根管症候群」「狭窄性腱鞘炎」など主な4つの病気についての原因や痛み、しびれのメカニズム、治療法について詳しくお話しいただきました。主な痛みの原因は加齢や手の酷使ということですが、仕事や生活をしていく上で「手を安静にする」というのは現実的にはなかなか難しいと思います。手の痛みやしびれも軽視せずに、生活の質を維持していく上で早めの受診が如何に大切かを理解できた講座でした。

【於：川上校区公民館 12月11日(木) 受講者29名 公民館主催】



痛みやしびれのメカニズムや最新の治療法について分かりやすくお話しいただきました



大規模地震災害など緊急時におけるトイレ事情と阪神淡路大震災時の現状について講演会を開催しました



今回は、佐賀県防災士会の柴田旬道氏を講師に大規模地震災害など緊急時におけるトイレ事情と阪神淡路大震災時の現状について講演をしていただきました。30年前に起きた阪神淡路大震災は戦後の日本において最悪の直下型地震で、死者数6,000人以上という都市部で甚大な被害が発生しました。

当時現地でボランティア活動をされていた講師の柴田さんは悲惨な世界を目の当たりにしながらの活動体験をお話しされました。また、水・食料より早く必要になるのがトイレでトイレが使えなくなることが最大の問題で、衛生面・防犯面・健康面でのリスクが高まるため携帯トイレ(1人1日5~7回×最低3日分)の事前の準備が不可欠であることもお話されました。災害時に起こるトイレの現実を多くの人に知っていただくことが大事であることを考えさせられた講演でした。「防災とは備えること。生きること」「非常持ち出し袋は個々人で違う。自分が使うものを備えておく」「持ち出し袋の個々人の共通の中身は携帯用トイレと水」「自助・共助は多くの命を救う鍵となる」

【於：校区公民館 12月12日(金) 参加者：110名 自主防災会・公民館・校区団体との共催】



川上の各団体から多くの皆さんの参加をいただきました

非常持ち出し袋の中身で代表的なグッズを展示しました

お家に飾ってお正月を楽しむ「いけばなアレンジ」教室を開催しました

草月流の松尾朱華先生による「正月いけばなアレンジ教室」を開催しました。お正月におめでたい松竹梅、竹の花器に松や梅をあしらひ、彩りとして南天、カーネーション、菊を花材に用い、それぞれが思い思いの自由な発想で活けられました。持ち帰られた作品は、リビングや玄関、床の間などに飾られ、季節を感じる喜びとともに、華やかなお正月を迎えられたことと思います。

【於：校区公民館 12月26日(木) 参加者：11名 公民館主催】



アドバイスを受けながら思い思いの自由な発想で活けられました

先生から一人一人に感想を

華やかなお正月を迎えられます



川上小2年生が生活科の学習で公民館施設見学



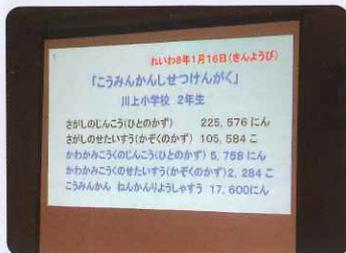
川上小学校の2年生が生活科の学習で公共の施設について学ぶため、公民館の施設見学を行いました。川上のまちにはどのような施設があるのかを知ることを目的にした「まち探検」です。

はじめに館長から校区公民館は、その校区に住んでいる人たちが集まって、学んだり交流したりするための地域施設であることを映像で事例を挙げて説明をしました。子どもたちは「地域の人のための、学び・集まり・つながりの場所」としての公民館施設に興味深くメモを取っていました。また、映像での説明の後、職員の案内で各部屋や外倉庫の中を見て回りました。子どもたちは事前に考えてきた質問や、施設見学の途中で気づいたことをすかさず質問していました。最後に代表で「ながふちあんな」と「のだきょうすけ」さんからお礼の挨拶をいただきました。

【於：川上校区公民館 1月16日(金) 2年生58名 先生4人 川上小・公民館共催】



川上小2年生は靴をこんなに綺麗に並べて



館長が事例を挙げて映像で説明しました



多くの質問が飛び交いました



気づきや事前に考えてきたことを積極的に質問しました



最後に各部屋を見て回りました



後日公民館にお礼のお手紙をいただきました

★★★★★ 今が旬・川上の地域ニュース ★★★★★

第6回 川上凧あげ祭り開催について広報「テレビ・ラジオ」番組出演

凧あげ祭り開催にあたって、イベント情報を広報媒体で発信のためにテレビ・ラジオ番組に出演しました。1月6日(火) ぶんぶんテレビでの生出演に続いて1月7日(水)はエフエム佐賀で収録に臨みました。両番組とも凧あげ祭りの取り組みのきっかけ、目的、内容、効果などについて、凧あげ祭りの魅力を発信してきました。



実行委員会のメンバー佐々木さん(写真左) 久富さん(写真右)・千住公民館長



エフエム佐賀で収録に臨みました



自主防災会本部で炊き出し訓練を実施しました



川上校区自主防災会の活動として、年4回実施している取り組みの一つである炊き出し訓練を、「川上凧あげ祭り」に合わせて実施しました。当日は、凧あげ祭りの参加者を避難者に見立てて、防災食としてカレーライス約400食を準備しました。多くの参加者であふれた会場では、子ども連れの親子など多くの方が列を作り防災食の提供を受けていました。本部派遣要員の皆さん早朝から大変お疲れ様でした。【於：はなはな公園 1月25日(日) ・自主防災会本部主催】



防災食炊き出し訓練の様子(凧あげ祭りの来場者を避難者に見立てて約400食を準備しました)長い行列ができました